

2020年3月23日

各位

株式会社北洋銀行

## 2020年度「ほっく一基金」助成先を決定しました 北海道の生物多様性保全に取り組む21団体へ総額700万円を助成します

北洋銀行は、「ほっく一基金選定協議会」における協議を踏まえ、北海道の生物多様性保全に取り組まれている21団体を、2020年度「ほっく一基金北海道生物多様性保全助成制度」(以下、ほっく一基金)助成先として決定しました。

本年度は、「ほっく一コース(助成金額上限100万円)」に14件、「トムコース(助成金額固定10万円)」に23件、計37件の応募がありました。厳正な協議の結果、下記21団体へ総額700万円の活動資金を助成させていただきます。これにより、2010年の基金設立以来、基金からの贈呈は100先を越え、延べ108先6,700万円となりました。

当行は今後も、持続可能な社会の実現に貢献すべく、環境に配慮した商品や金融サービスの提供するほか、CSR活動を通じて環境保全に取り組むお客さまを支援してまいります。

### 記

#### <2020年度「ほっく一基金」助成先>

(50音順)

ほっく一コース助成先団体(8団体)			
特定非営利活動法人 エトピリカ基金	オホーツク魚類研究会	間伐ボランティア札幌ウッドイーズ	釧路自然保護協会
特定非営利活動法人 サロベツ・エコ・ネットワーク	然別湖生物多様性保全協議会	一般社団法人大雪山・山守隊	深川ひきがえるマスターズ

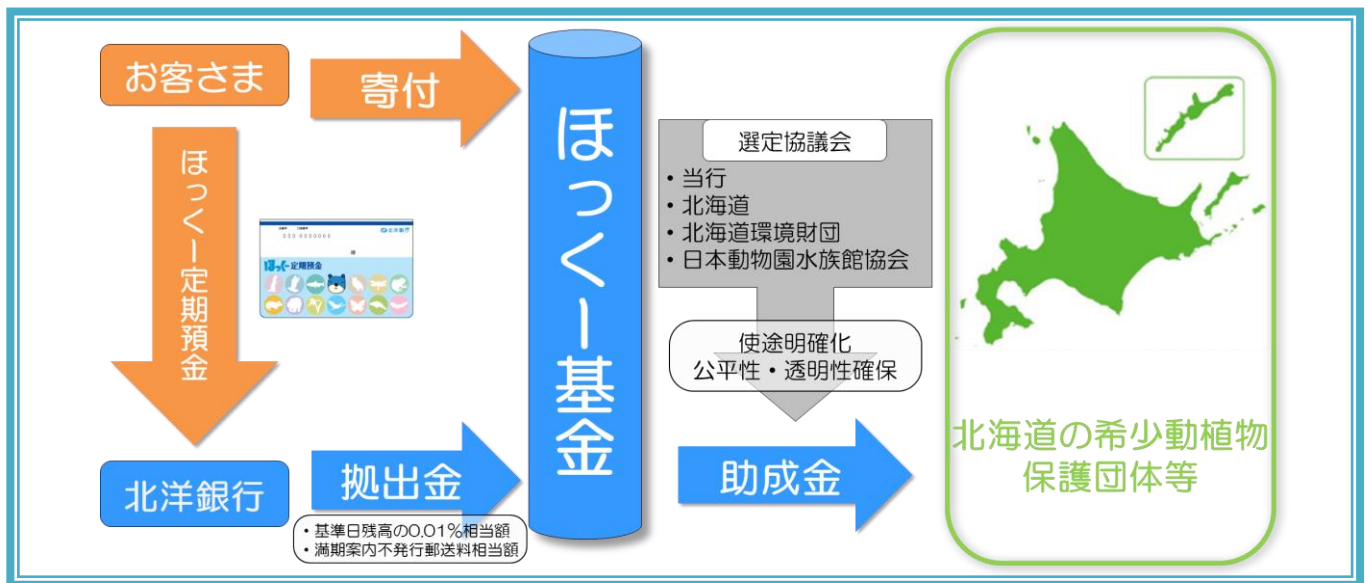
(50音順)

トムコース助成先団体(13団体)			
雨竜沼湿原を愛する会	遠軽町ウチダサリガニ防除 ボランティアグループ「シオ・サリ・クラブ」	環境市民団体エコ・ネットワーク	駒生川に魚道をつくる会
ニセコ羊蹄山岳会	日本鳥学会企画委員会	ノハナショウブ保存会	Friends of Shari River 斜里川を考える会
特定非営利活動法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト	北海道外来カエル対策ネットワーク	ユウパニコザクラの会	利尻島ウミネココロニーについて 考える会
両爬の生態系をかんガエル・札幌 市南区チーム(略称:かんガエル)			

以上

## 1. 制度の概要

### ■「ほっくー基金北海道生物多様性保全助成制度」のしくみ図



### ■ほっくー定期預金

「ほっくー基金」の主な原資として、「ほっくー定期預金」を全店でお取り扱いしています。

お客さまからお預け入れいただいた「ほっくー定期預金」の、当行が別途定める基準日の残高の0.01%相当額と、満期案内不発行による郵送料相当額を、当行は「ほっくー基金」に拠出いたします。これにより、お客さまは金銭負担なく、間接的に「ほっくー基金」へ参加し、北海道の生物多様性保全に貢献いただくことができます。

## 2. 助成先の詳細

### ■「ほっくーコース(助成金額上限 100 万円)」助成先

(50 音順)

団体名	団体所在地	主な活動内容	助成金による活動	助成金額
特定非営利活動法人 エトピリカ基金	厚岸郡 浜中町	絶滅危惧種であるエトピリカやケイマフリの調査・誘致・保護活動を実施。2017年より、海鳥調査時に見られるようになった国際保護獣ラッコの調査開始。	北海道東部におけるラッコの復活と共生に向けて	80万円
オホーツク魚類研究会	網走郡 美幌町	オホーツク地域の魚類の生息状況及び生態に関する調査研究、魚類の保全・保護管理や普及啓蒙活動を実施。	魚類調査、生物多様性に配慮した農業用施設用手作り魚道の設置	90万円
間伐ボランティア札幌ウッディーズ	札幌市	月2～4回森林の間伐・下草刈り・枝打ち・道作りを実施。市所有、学校所有の森林など、手つかずで荒れている森林の整備を行う。	光と風で森の役割を高め生態系の支援を！	20万円
釧路自然保護協会	釧路市	釧路湿原や生息する動植物の保全活動の他、ウチダザリガニの駆除事業、ウチダザリガニ駆除水域設置等を実施。	閉鎖的な池におけるウチダザリガニの徹底駆除と環境DNA利用による絶滅の検証	80万円
特定非営利活動法人 サロベツ・エコ・ネットワーク	天塩郡 豊富町	サロベツ稚咲内砂丘林の清掃、植樹・維持管理、学生向け研修ツアーを実施する他、サロベツ稚咲内砂丘林に生息する鳥類を調査。	サロベツ稚咲内砂丘林における希少鳥類の繁殖調査と保全	80万円
然別湖生物多様性保全協議会	河東郡 鹿追町	ウチダザリガニの防除活動、捕獲されたザリガニを活用した食用加工品の開発に取り組む他、地元小中学生を対象とした環境学習を実施。	然別湖における特定外来生物ウチダザリガニ防除対策事業	90万円
一般社団法人大雪山・山守隊	上川郡 当麻町	行政と協働して山岳管理を行う他、学生を対象とした環境保全活動や、一般人を対象とした写真展やフォーラムを開催。	たまには山に恩返し～高山帯の自然環境保全活動	90万円
深川ひきがえるマスターズ	深川市	国内外来種アズマヒキガエルと特定外来生物アライグマに対して、地域からの排除を最終目標とした駆除活動を実施。	地域の外来生物アズマヒキガエル・アライグマ駆除事業	40万円

## ■「トムコース(助成金額固定 10万円)」助成先

(50音順)

団体名	団体所在地	主な活動内容	助成金による活動	助成金額
雨竜沼湿原を愛する会	雨竜郡 雨竜町	雨竜沼湿原の登山者の踏込防止、清掃美化活動、外来生物の防除活動を実施する他、エゾシカの食害等の影響調査に取り組む。	雨竜沼湿原のエゾシカ食害対策 忌避剤による食害防止の実証実験	各団体 10万円
遠軽町ウチダザリガニ防除ボランティアグループ シオ・サリ・クラブ	紋別郡 遠軽町	ウチダザリガニの防除活動、子供会と共催したウチダザリガニ防除体験を実施。	ウチダザリガニ防除活動及び特定外来種駆除への普及啓発活動	
環境市民団体エコ・ネットワーク	札幌市	環境ボランティア(森林の手入れ・採草地における鹿角広い等)、エコキャンプ、環境ツアー、フットパスを実施。	ヒグマの市街地侵入を防止するための草刈りボランティア	
駒生川に魚道をつくる会	網走郡 美幌町	春の雪解けや夏の台風の増水で破損する手作り魚道(2011年～2012年作成)の修理及び魚の遡上の確認。	手作り魚道の効果検証調査	
ニセコ羊蹄山岳会	虻田郡 倶知安町	環境保全活動として、清掃登山、国内外来種コマクサの駆除活動を実施。	羊蹄山におけるコマクサ駆除活動	
日本鳥学会企画委員会	美幌市	シンポジウムや講習会(鳥の学校)を実施。2019年9月にはテーマ別講習会「高病原性鳥インフルエンザと野鳥～最近の情勢と野鳥調査者のための基礎知識」を開催。	日本鳥学会2020年度大会における小中高校生企画	
ノハナショウブ保存会	江別市	ノハナショウブの保全活動として、江別市管理地の雑草取り、施肥、移植を実施。	石狩大湿原とノハナショウブ(啓蒙のためのシンポジウム)	
Friends of Shari River 斜里川を考える会	斜里郡 斜里町	斜里川におけるイトウの調査研究や、各種教育機関等と連携した体験学習による啓発活動を実施。	斜里川のカワウ飛来状況の調査と川の恵みを引き継ぐ活動	
特定非営利活動法人 北海道エコレッシュ推進プロジェクト	余市郡 余市町	「持続可能な暮らし」に関する各種講座やイベントの開催しており、森林の維持管理や、子供や修学旅行生へ自然体験プログラムを実施。	地域で取り組む野草の文化継承と外来種防除	
北海道外来カエル対策ネットワーク	札幌市	外来カエルの防除活動として、公演や動物園等の公共施設で外来カエル認知度向上のための普及活動やシンポジウム等を実施。	“北海道のカエルランクキット”の作製	
ユウバリコザクラの会	夕張市	夕張岳登山道周辺の補修・ごみ拾い清掃作業、植生回復のための定点観察、地元小中学校への道徳授業講師派遣を実施。	夕張岳登山道の安全管理維持活動	
利尻島ウミネココロニーについて考える会	利尻郡 利尻町	北海道準絶滅危惧種に指定されているカモメ類の保全を目的として生態調査、環境教育や普及活動を実施。	ウミネコの巣立ち見守り隊	
両爬の生態系をかんガエル・札幌市南区チーム(略称:かんガエル)	札幌市	アズマヒキガエル分布調査・防除作業、地元高等学校におけるアズマヒキガエルの出前授業を実施。	札幌市南区におけるアズマヒキガエルの生息影響調査及び防除	

以上